

選択問題（先端医療学分野）

指導教員群記号：D

近年、分子量 500 以下の低分子医薬品と、分子量 15 万程度の抗体医薬品を中心とする高分子医薬品の間位置する分子量の中分子医薬品が次世代の医薬品として大きな注目を集めている。中分子医薬品に相当する分子量を有する医薬品としては、ペプチド、核酸、天然物等があげられる。中分子医薬品に関して、次の設問（1）、（2）に答えよ。

- （1）中分子医薬品は、低分子医薬品と高分子医薬品の長所を併せ持つとされるが、例えば、特異性、副作用、タンパク質間相互作用、細胞内標的、投与方法、製造コスト等の観点から、低分子医薬品および高分子医薬品と比較しながら、中分子医薬品の特徴について、300 字以内で述べよ。
- （2）設問（1）で記述した中分子医薬品の特徴を活かした医薬品の創薬アイデアを 500 字以内で述べよ。既に実用化されている中分子医薬品について述べてもよいし、新しい独自のアイデアを述べてもよい。